

令和8年度 栄南小学校「学ぶ力」育成プログラム

学校番号：23021

自ら課題を見付け、自ら学び、自ら問題を解決する資質・能力

「学ぶ力」	
実態	成果
	<p>◇「わたしノート」など、学びをコントロールする力の育成に重きを置いてきた結果、本校独自の児童アンケートで「自分で計画し、『わたしノート』に取り組んだ。」と回答する児童が増加した。</p> <p>◇全国学力テスト質問紙「分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできているか。」の項目で、肯定的な回答が増加した。</p>
	<p>◇本校児童アンケート「勉強していて面白い、楽しいと思うことがよくある。」と答える児童が、昨年度より減少した。</p> <p>◇共通指標「授業中に進んで自分の考えを発表している。」「意見の違う人とも、良く話し合おうとしている。」と回答する児童が昨年度より微減となった。</p>
「学ぶ力」の基盤〈協働を通して磨く 相互承認の感度〉の現状と課題	
	<p>◇共通指標「自分にはよいところがある。」という項目は、過去5年間増加傾向である。しかしながら、昨年度と比較すると減少している。また、「人のよいところを見付けようとしている。」という項目は、毎年高水準を保っているが、上下を繰り返しており、安定していない。その結果は児童アンケートにも表れており、本校独自アンケート「授業中、進んで自分の意見を発表しようとしている。」「意見の違う人とも、よく話し合おうとしている。」「友達の意見を聞いて、それを参考に自分の考えを見直している。」という項目においても、肯定的な回答は高水準ながら上下を繰り返し安定していない。</p>

「学ぶ力」の育成のために着目する資質・能力

「～たい」と主体的に学びを進めることができる力

取組	課題探究的な学習の推進 に向けて	自治的な活動の充実 に向けて
	<p>(1) 子どもの実態をスタートとした確かな授業づくり 十分な子ども理解を踏まえた上で、育てたい子どもの姿に迫るための教材研究・授業作りに重点を置く。</p> <p>(2) 子どもたちが主体的に活動できるための手立て 「発表したい」「調べたい」「話し合いたい」と思える教師の関わり、授業構成を追究する。</p>	<p>①授業や行事、委員会活動など様々な場面で「子どもたちの意見」が反映される機会の充実</p> <p>②よりよい学級にするための学級活動の充実 →学級の様々な課題を議題にした学級会の実施 →自分たちで計画し運用していく係活動の実施</p> <p>③自分たちの生活を振り返る場の設定 毎週末に行われる「生活のめあて」のリフレクション。キャリアパスポートの活用。</p>
	<p>◇主に(2)について、オクリンク等のツールを使い、子どもたちの考えを共有し、学びが深まる手立てを講じていく。また、生成AIの活用に向けて整備をしていく。</p> <p>◇主に①について、グーグルクラスルーム用い、委員会活動で話し合った内容や自分の考えなどを共有するなど、全校へ発信するツールの一つとして活用する。</p>	

<本プログラムの実行に向けて>



